

教育的価値	具 体 の 項 目	教育課程
2【かかわる】	<p>②【自然との共存】</p> <p>自然と関わって、自然の恵みや美しさに感動する心と畏敬の念をもち、自然と共に生きることについて考えさせる。</p> <p>体験学習を通して自然とふれあい、教室ではできない広い豊かな経験をし、社会的視野を広げる。</p>	総合的な学習の時間

【題材】

- 内間木洞体験学習

【対象】

小久慈小学校 6年生

【実践の概要・詳細】

〔概要〕

今まで実施していなかった活動だが、今回初めて内間木洞体験学習を実施し、地域の自然を知り、地域の良さ、自然環境保護の大切さを考えさせる。

〔詳細〕

平成25年9月9日（月）に久慈市山形町内内間木洞を活用して自然体験学習を行った。

講師は、ふるさと体験学習協会の職員である。

最初に、全体で講師の方から、本日の活動内容の確認と安全面のことを話された。

児童は2グループに分かれてそれぞれの講師の指導のもと、自然体験を実施した。



活動内容は、シャワークライミング（山を流れる沢

の水に体を浸しながら上流へ向けてさかのぼる水遊び）とツリーイング（高い木にかけた専用ロープと安全ベルトを使った木登り）である。

児童に、それぞれの活動を通して、自然の良さや、自然が守られていることの意義、自然との共生を考えさせる。

ツリーイングの様子



シャワークライミングの様子



【授業の展開】

平成25年9月9日（月）内間木洞体験学習

○学校から久慈市山形町内内間木洞にバスで移動

9：30 自然体験（1組シャワークライミング 2組ツリーイング）

- ・体験に入る前に、講師の方から、安全面についての話をしてもらう。
また、服装等の安全チェック等を確認する。

体験学習開始

- ・1組の児童はシャワークライミングで沢登りをする。水温15度であまりの水の冷たさに悲鳴をあげる児童もいた。それでも、講師の方のあとをついて水の中を歩いたり、途中で水が深いところでは、高い所から飛び降りたり、斜面になっているところを滑り降りたりした。
- ・2組の児童はツリーイングをする。講師の方の指導でロープで木の上のところまで高く上がったり、途中で止まったりして活動した。

12：00 昼食

13：00 体験学習開始（1組ツリーイング 2組シャワークライミング）

- ・午前とは1組と2組が活動を交換して、午前と同じように活動する。

○久慈市山形町内内間木洞から学校へバスで移動

*児童は、活動を通して、地元こんな素晴らしい自然があることに気付くとともに、このような活動ができることのありがたさやこのような自然を守っていくことの大切さを考えることができた。

<児童の感想>

- ・私は、シャワークライミングをして、「川の水ってこんなに冷たいんだ。」とびっくりした。
また、自然の気持ち良さも学んだ。
- ・久慈では、海で素もぐり漁で有名な北限の海女ばかりが注目されているが、川ではこのように楽しめる場所があることが改めて分かった。
- ・私は、ツリーイングをして、高いところまで登ると見渡す限り自然がたくさんあって、久慈の自然の良さをより感じる事ができた。

<まとめ>

- ・シャワークライミングやツリーイングを通して、健康な自然だからこそ、その恩恵にあずかることを学習した。自然を大切にすることを肌で感じる事ができた。
- ・自然にたくさん触れ、自然を守り育てる考えをもてる人材を育てていきたい。